

本工 一八 臨時 二 計 二。名

労働組合關係 無シ

五 紛議發生原因

(1) 遠 因

當工場ハ昭和九年四月事業不振ノ為當時ノ經營者藤本秩助
 ハ他ニ讓渡セントシタル際當時ノ營業主任澤田文雄ハ後業
 員ノ支持ヲ得、同工場ヲ時價三萬圓ニテ讓受ケタルモ澤田
 ハ何等資産無キ為同工場及敷地ヲ五萬圓ニ評價シ之ヲ担保
 トシテ勸業銀行ヨリ金融ヲ得資本金ニ當ラタルガ當時全後
 業員ニ協力ヲ願フト共ニ
 (1) 今後解雇セザルコト
 (2) 學園印刷所ノ解散手當三千圓ヲ今後業績ニヨリ三年以内
 ニ於テ勤價年數ニ應ジ按分スルコト
 (3) 口頭ニテ約束セリ

高營業繼承ノ際職工ノ積立貯金一七六圓及藤本ノ職工ヨ
 リノ借金(藤田豊吉一五。圓東吉次一。圓舟木幸次郎一
 一五圓)ヲ債務トシテ繼承セルニ不物何等利子ヲ附セズ元
 金ノミヲ退職者ニ支拂ヒ居リタルヲ後業員ニ於テハ不滿ニ
 思ヘリ

2 近 因

最初ヨリ借金政策ニテ經營ニ當リタル澤田ハ事業不振ハ金
 利ニ追ハレタル為投資家ヲ求メ澤田ニ對シ三五。圓ヲ金
 融セルモ笠谷尋信ヲ支配人トシテ就任セルモ協力ヲ求メタル
 處後業員側ハ工場ノ實権ガ笠谷ニ移ラバ澤田支持ノ功勞ハ
 無視サレ勞働條件ノ低下等ノ實現ヲ虞レ此ノ際曩ニ澤田カ
 公約セル退職手當三。〇〇圓ノ分配前事業主藤本ニ貸與セ
 ル積立貯金個人貸ノ返済又ハ確認等ヲ物價騰貴ニヨリ貸銀
 値上ト共ニ別記要求書(一)ニヨリ要求シタルニ因ル